

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・0522 NO8

校長 伊波喜一

見ず知らず 大人の人と テーマ決め 明日の江古田を サークルトーク
去る12日に、中野区教育委員会の学校訪問があり、全校の授業を見ていただきました。その後、田辺教育長をはじめとする12名の幹部職員が12学級に分かれ、子ども達と昼食を共にしました。午後からは体育館で、6年生と対話集会を行いました。本校出身の教育委員から「昔の江古田小」の様子を聞き、6グループに分かれ「今の自分で変えられる江古田小」のテーマで話し合いました。派手なテーマではありませんが、子どもたちなりに考えて話し合いに臨みました。この話し合いほど難しいものはありません。相手の発した言葉に対応していかななくては、話し合いは深まりません。話し合う内容は勿論のことですが、話し方や言葉遣いが大きく影響します。声のトーンも大事で、声高ではなく静かに話すとそれだけで話がストンと入ってきます。その意味でも、今回の話し合いは子ども達にとって、大いに知的影響を受けたのではないのでしょうか。千載一遇のこの機会を生かし、子ども達が話し合うことの面白さと奥深さに気づいてくれることを、楽しみにしています。